YA4-007251～014999、YA5-013951～022999

ドアポケットに入れてお使いください

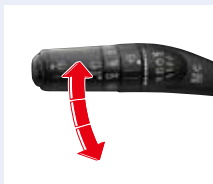
2009年9月以降

クイックユーザーガイド

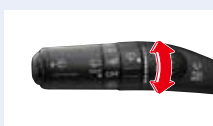
このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
EXIGAを楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めてEXIGAに触れられるときにぜひご一読ください。

クイック ユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

運転席周辺

フロントワイパー

エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のときに使用できます。

OFF：停止
：間欠作動
LO：低速連続作動
H I：高速連続作動

●ミスト
レバーを手前に引いている間、ワイパーが作動します。

●間欠作動の時間調整
リングを上に回すと作動間隔が短くなり、下に回すと長くなります。

●ウォッシャー液の噴射
スイッチを押している間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが1～2回作動します。

リヤワイパー

エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のとき使用可能。

：ワイパー作動中にウォッシャー液を噴射
ON：連続で作動
INT：間欠作動（車速に応じて変化）
OFF：停止
：ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが作動。手を離すと「OFF」に戻ります。

Info-ECOモードスイッチ

Info-ECOモードを選択するスイッチ。燃費の良い走りのとき、メーター内Info-ECO表示灯が表示されます。

SI-DRIVE (SUBARU Intelligent Drive)

SI-DRIVEセレクター

SI-DRIVE※ は、3つの特性をもった走行モードを選べるシステムです。

● **I（インテリジェントモード）**
SI-DRIVE セレクターを押します。

● **S（スポーツモード）**
SI-DRIVE セレクターを左に回します。

[S]

● **S#（スポーツシャープモード）**
SI-DRIVE セレクターを右に回します。

S#

メーター内表示灯
選択しているモードにより、左のいずれかの表示灯がメーター内に表示されます。

★一部車種のみに装着されている機能・装備ついては ✤ マークがついています。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

ライティングスイッチ

OFF：消灯

⁝D0⁝ ：車幅灯、尾灯、番号灯が点灯

≡D ：上記 ⁝D0⁝ 時に点灯のランプに加えて、ヘッドランプが点灯

●ヘッドランプの上下を切り替える

レバーを前に押すと上向き、元に戻すと下向きになります。

●パッシング

レバーを手前に引いている間、ヘッドランプは上向きになります。

※電源を「OFF」、またはキーを抜くと、ライトは消灯しますが、ライティングスイッチを一旦「OFF」にして再度 ⁝D0⁝ または ≡D 位置にすると電源OFF状態でもランプが点灯します。

※車から離れるときは、バッテリー上がりをふせぐため、必ずライティングスイッチを「OFF」にしてください。

フロントフォグランプスイッチ ✤

ライティングスイッチが ⁝D0⁝ または ≡D のときに使用できます。

OFF：消灯

⨏D ：フロントフォグランプが点灯

VDC OFFスイッチ ✤

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）を一時的に「OFF」にしたい場合に押します。

作動可能状態に復帰させるときには、もう一度 VDC OFF スイッチを押します。

※通常は「ON」でご使用ください。「OFF」にする場合については取扱説明書3章をご覧ください。

クルーズコントロール ✤

※EyeSight（アイサイト）装備車については専用取扱説明書、クイックユーザーガイドをご覧ください。

アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つことができる機能です。

CRUISE スイッチ 1 を押すとクルーズコントロールが作動可能になります。作動停止するときはスイッチをもう一度押します。

●速度をセットするとき

希望する車速のときに SET/COAST スイッチ 2 を押します。

●一時解除

ブレーキペダルを踏む、または CANCEL スイッチ 3 を押します。

●一時解除の復帰

RES/ACC スイッチ 4 を押します。

●セット車速の調整

セット車速を上げるときは RES/ACC スイッチ 4 を、下げるときは SET/COAST スイッチ 2 を希望速度まで押し続けます。

運転席周辺

インフォメーションメーター

エンジンスイッチが「ON」のとき、外気温度計と瞬間燃費計または平均燃費計A、Bを表示します。

瞬間燃費計と平均燃費計 A、B はメーター右下のトリップ切り替え／トリップリセットノブ※ を押して切り替えます。

※ノブの場所は P9～10 の表示灯・警告灯のページを参照してください。

スカイ空調（後席用ベンチレーション）

車内上部を通してサードシートへエアコンの風を届けます。ダイヤルを前後に動かして吹き出し口を開閉します。

駐車ブレーキペダル

●かけるとき

ペダルを確実に踏み込みます。

●解除するとき

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足で駐車ブレーキペダルを「カチッ」と音がするまで踏みます。ゆっくり左足を離し、駐車ブレーキを解除します。

シートヒーター

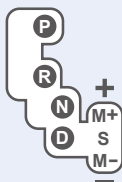
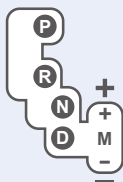
エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のときダイヤルを回すとシートが暖まります。4段階の温度調節ができます。

セレクトレバー

SI-DRIVE装備車

SI-DRIVE装備車以外

エンジンスイッチが「ON」またはエンジン回転中、ブレーキペダルを踏みながら操作します。

- **P**：**パーキング**（駐車およびエンジン始動位置）
- **R**：**リバース**（後退位置）
  ※リヤビューカメラ装着車は車両後方の映像がモニターに表示されます。
- **N**：**ニュートラル**（中立位置）
- **D**：**ドライブ**（通常走行位置）

●マニュアルモード

SI-DRIVE 装備車は **D** から右へ動かすと、SI-DRIVE 装備車以外は **S** から上下どちらかへ動かすとマニュアルモードになります。

●スポーツモード

SI-DRIVE 装備車以外で **D** から右へ動かすとスポーツモードになります。

※SI-DRIVE 装備車は SI-DRIVE セレクターで選択します。

★一部車種のみに装着されている機能・装備ついてはマークがついています。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

パドルシフト

右側のシフトレバーが ⊕(アップ)、左側のレバーが ⊖(ダウン)になります。1 段上のギヤに変速するときは⊕のレバーを手前に引きます。1 段下のギヤに変速するときは ⊖のレバーを手前に引きます。
マニュアルモード（左ページ参照）で使用します。D位置で変速すると一時的にマニュアルモードになり、しばらく走行後また D へ戻ります。

プッシュエンジンスイッチ

P6「プッシュスタートシステム」を参照してください。

イルミネーションコントロールダイヤル

メーターなどの明るさを調整できます。上方向に回すと明るくなります。
〈ブライト（減光キャンセル）機能〉
ダイヤルを一番明るい段階から、さらに上方向(●印部分)に回すと、ライト点灯しても表示部の照明が減光されません。

光軸調整ダイヤル

ヘッドランプの照らす高さを下げることができます。（通常はダイヤル0の位置で使用）
乗車人数、荷物の積載状態に応じて、ダイヤル位置を調整してください。

チルト／テレスコピックステアリング

運転姿勢に合わせてハンドル位置を前後または上下に調整できます。
①チルト／テレスコピックレバーを押し下げます。
②ハンドル位置を合わせます。
③レバーを引き上げます。
④ハンドルが固定されたことを確かめてください。

ドアミラーの調整

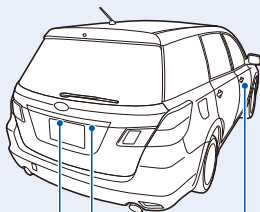
●電動リモコンドアミラー
左右切り替えスイッチ L R を押し、角度調整スイッチ MIRROR で後方視界が充分確認できるように調整します。

●電動格納
スイッチ を押すと左右のミラーが同時に格納され、再度押すと元に戻ります。

ドアおよびリヤゲートの施錠・解錠／プッシュスタートシステム／その他

キーレスアクセスによるドアおよびリヤゲートの施錠・解錠

アクセスキーを携帯し、以下のスイッチを押すことでドアおよびリヤゲートの施錠・解錠ができます。

アクセスキー

- **ドアハンドルのリクエストスイッチ 1**
  すべてのドアおよびリヤゲートの施錠・解錠
- **リヤゲートのリクエストスイッチ 2**
  すべてのドアおよびリヤゲートの施錠
- **リヤゲートオープナースイッチ 3**
  すべてのドアおよびリヤゲートの解錠
  ※リヤゲートは解錠し、開きます。

※心臓ペースメーカーなど医療用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。詳しくは取扱説明書2章をご覧ください。
※強い電波ノイズがあるときや、アクセスキーの電池残量が少なくなったときは、アクセスキーで操作できないことがあります。

電波式リモコンドアロックによるドアおよびリヤゲートの施錠・解錠

アクセスキー

リモコンキー

アクセスキーまたはリモコンキーのボタンを押すと電波により、車から離れたところからすべてのドアおよびリヤゲートの施錠・解錠ができます。

- ：すべてのドアおよびリヤゲートの施錠
- ：すべてのドアおよびリヤゲートの解錠
- ：リヤゲートの解錠

盗難防止機能

●盗難警報装置
キーレスエントリー(キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック)でドアを施錠後、アクセスキーまたはリモコンキー以外でドアが開けられた場合、警報が作動し周囲に異常を知らせます。
警報が作動したときは、次のいずれかの操作で解除できます。

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装着車〉
・アクセスキーのいずれかのボタンを押す。
・アクセスキーを携帯し、リクエストスイッチを押す。
・エンジンスイッチを「Acc」にする。

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外〉
・リモコンキーのいずれかのボタンを押す。
・エンジンスイッチを「ON」にする。

●イモビライザー機能(盗難防止用エンジン始動ロックシステム)
車両の盗難防止のため、登録されたキー以外ではエンジンの始動ができません。

※キーの登録、システムの点検などの際には、セキュリティIDが必要となります。セキュリティIDプレートは、車内以外の場所に大切に保管してください。
※キーナンバープレートはキーをつくるときに必要ですので大切に保管してください。

セキュリティIDプレート

キーナンバープレート

プッシュスタートシステムによるエンジンの始動・停止

アクセスキーを携帯して車内に入ると車両の電源の切り替えおよびエンジン始動をすることができます。

エンジンの始動

①アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
②駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
③セレクトレバーが P であることを確認します(N でも始動できますが、安全のため P で始動してください)。
④プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色になるまで、ブレーキペダルを踏み込みます(N で始動する場合、作動表示灯は緑色になりません)。
⑤ブレーキペダルを踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。

※強い電波ノイズや、アクセスキーの電池残量不足でアクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動
①セレクトレバーが P 位置であることを確認し、ブレーキを踏みます。
②アクセスキーのボタン側を手前に向けて、アクセスキーをプッシュエンジンスイッチに触れるまで近づけます。ブザー音(ピッ)が鳴り、プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色に点灯します。
③作動表示灯が緑色に点灯してから5秒以内に、ブレーキペダルを踏みながらプッシュエンジンスイッチを押してください。

エンジンの停止

車両を完全に停止させ、プッシュエンジンスイッチを押してください。エンジンが停止し、電源が「OFF」になります。
ただし、セレクトレバーを P に入れてからエンジンスイッチを押さないと電源が「OFF」になりません。

※セレクトレバーの位置が P 以外でエンジンを停止すると、電源が「Acc」になり、バッテリー上がりの原因となります。車両から離れるときは P 位置でエンジンを停止し、電源が「OFF」になっていることを確認してください。
※走行中3秒以上プッシュエンジンスイッチを押し続けるとエンジンが停止します。ただし緊急時以外は本操作を行わないでください。

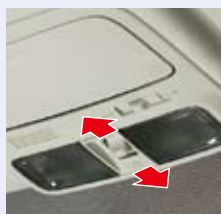
電源の切り替え

作動表示灯

ブレーキペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、電源が
OFF→Acc→ON→OFF
の順に切り替わります。

作動表示灯の状態

(緑)	**緑色に点灯**	エンジン始動が可能な状態
(橙)	**橙色に点灯**	「ON 」または「Acc」
(灰)	**消灯**	「OFF」もしくはエンジン回転中
(緑・点滅)	**緑色に点滅**	ステアリングロックが解除されていません。 ※解除方法は裏表紙のQ&Aをご覧ください。
(橙・点滅)	**橙色に点滅**	システムの故障が考えられます。 直ちにスバル販売店にご連絡ください。

パノラミックガラスルーフ(電動サンシェードの開閉)

●開けるとき
スイッチを「OPEN」側に押します。途中で止めるときは、スイッチを「OPEN」または「CLOSE」側に押します。

●閉めるとき
スイッチを「CLOSE」側に押します。途中で止めるときは、スイッチを「OPEN」または「CLOSE」側に押します。

はっ水加工ガラス

フロントドアガラスについた水滴をはじき、走行中でも視界を良好に保ちます。はっ水加工は消耗品です。はっ水効果を長持ちさせるために下記の項目に注意してください。

・フロントドアガラスの汚れはやわらかい湿った布などで拭いてください。

・自動洗車機を使用するときは、フロントドアガラスの汚れを上記のように取り除いてから洗車してください。

水滴のはじきが悪くなった場合は補修が必要です。
詳細は取扱説明書6章をお読みください。

シートの調整

フロントシート（パワーシート）

シートのドア側のスイッチ操作で調整ができます。

●前後位置の調整

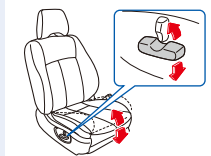
スイッチ全体を前後に動かして調整します。

●リクライニング調整

リクライニングスイッチを前後に動かして背当て角度を調整します。

●高さの調整

スイッチの後側を上下に動かしてシートの高さを調整します。

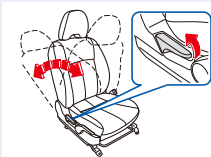
●座面前側高さの調整

スイッチの前側を上下に動かして調整します。

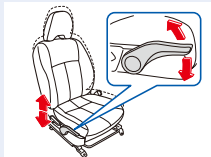
フロントシート（マニュアルシート）

シートのドア側と下部のレバー操作で調整ができます。

●前後位置の調整

前席下部のレバーを完全に引き上げた状態でシートを前後に動かして調整します。

●リクライニング調整

シートのドア側レバーを完全に引き上げた状態で背当て角度を調整します。

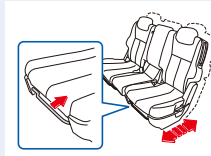
●高さの調整（運転席のみ）

レバーを引くたびに上がり、押すたびに下がります。

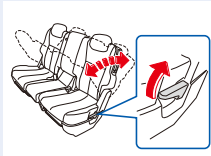
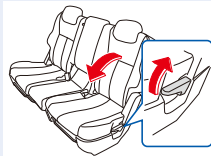
アームレスト

●フロントシートアームレスト

角度を調整できます。低くするときは、アームレストを一度上まで引き上げてから、一番下の位置まで下げます。高くするときは一番下の位置から引き上げて調整してください。

セカンドシート

●前後位置の調整

足下のレバーを完全に引き上げた状態で前後に動かして調整します。

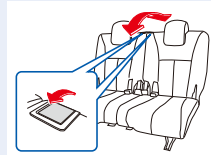
●リクライニング調整

レバーを完全に引き上げた状態で背当ての角度を調整します。

●背当てを倒す

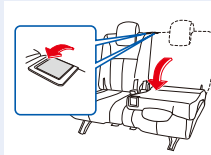
レバーを引き上げながら、左右に分割されているシートをそれぞれ倒します。

●セカンドシートアームレスト

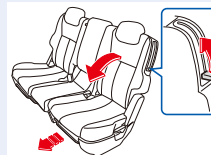
背当て中央部を前に倒してアームレストとして使います。ストラップを引いて倒します。

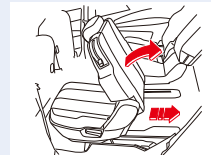
サードシート

●リクライニング調整

背当て上方にあるレバーを引いた状態で、背当ての角度を調整します。

●背当てを倒す

背当て上方にあるレバーを引いた状態で、背当てを前に倒します。

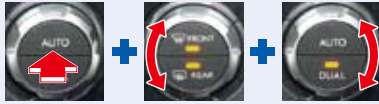
ウォークイン機構（サードシートへのアクセス）

●セカンドシートを動かす

レバーを上げると、背当てが前に倒れ、セカンドシートを前へ動かすことができます。

●元にもどす

シートを後へ動かし、背当てを引き起こします。シートが固定されたことを確認してください。

エアコンの操作

フルオートエアコン（左右独立温度調整機構）

●フルオートでの使いかた

①AUTOスイッチを押します。
②左右それぞれのダイヤルで、希望温度に設定します。
表示部にFULL AUTOと表示されます。

●温度調整ダイヤル
室内温度を設定するときに使います。
運転席側、助手席側で室内温度をそれぞれ設定できる左右独立機能と、運転席側ダイヤルで運転席側、助手席側の両方の室内温度を設定できる左右連動機能があります。

●AUTOスイッチ
フルオートで使うとき押します。

●DUALスイッチ
左右独立機能と左右連動機能を切り替えます。助手席側の温度調整ダイヤルを操作したときも左右独立（DUAL）となりスイッチ内表示灯が点灯します。

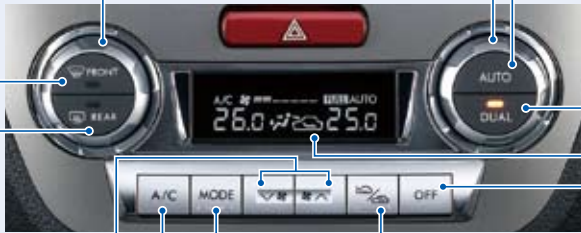
●デフロスタースイッチ
フロントガラス、サイドガラスの曇りや霜をとるときに使います。

●表示部

●OFFスイッチ
エアコンを「OFF」にします。

●リヤウインドゥデフォッガー
スイッチを押すごとに「ON/OFF」が切り替わります。
約15分後に自動的に「OFF」になります。
ヒーテッドドアミラーとフロントワイパーデアイサー装備車は同時に作動します。

●風量調整スイッチ
風量を調整するときに使います。

●A/Cスイッチ
冷房・除湿機能の「ON/OFF」を切り替えます。

●モード（吹き出し口）切り替えスイッチ
スイッチを押して切り替えます。
：上半身
：上半身と足元
：足元
：足元と窓ガラスの曇り
：窓ガラスの曇り

●内外気切り替えスイッチ
スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。
：外気導入
：内気循環
※通常は外気導入をお使いください。

フルオートエアコン

●フルオートでの使いかた

①温度調整ダイヤルを希望温度に設定します。
②吹き出し口切り替えダイヤルと風量調整ダイヤルを「AUTO」位置にします。

●吹き出し口切り替えダイヤル
：上半身
：上半身と足元
：足元
：足元と窓ガラスの曇り
：窓ガラスの曇り
AUTO：自動制御

●温度調整ダイヤル
室内温度を調整するとき使います。
温度を上げるときは右へ、温度を下げるときは左へ回します。

●風量調整ダイヤル
風量を調整できます。
風量を少なくするときは左へ、多くするときは右へ回します。「AUTO」では適切な風量に自動制御されます。

●内外気切り替えスイッチ
スイッチを押して外気導入/内気循環を切り替えます。
一度フルオートに設定されるとその後スイッチを押すまで、外気導入と内気循環が自動制御されます。※1

●A/Cスイッチ
風量ダイヤルが「OFF」以外のとき、スイッチを押すとエアコン（冷房、除湿）が作動します。
一度フルオートに設定されるとその後スイッチを押すまで、エアコンの「ON / OFF」が自動制御されます。※1

●リヤウインドゥデフォッガー
スイッチを押すごとに「ON/OFF」が切り替わります。約15分後に自動的に「OFF」になります。ヒーテッドドアミラーとフロントワイパーデアイサー装備車は同時に作動します。

※1 フルオート設定時にA/Cスイッチまたは内外気切替スイッチを押すとその機能はマニュアル作動となります。 再度自動制御にするには、吹き出し口切替ダイヤルまたは風量調整ダイヤルを「AUTO」以外の位置にしてから、「AUTO」位置へ戻してください。

表示灯・警告灯

※EyeSight（アイサイト）装備車については専用取扱説明書、クイックユーザーガイドをご覧ください。

〈タイプA〉

1 ブレーキ警告灯

駐車ブレーキがかかっているとき点灯。
その他異常時は点灯。

2 オイルプレッシャー警告灯

エンジンオイルの圧力に異常があるとき点灯。

5 AT油温警告灯

オートマチックトランスミッションオイルまたは CVT フルードの温度が高くなると点灯。異常時に点滅。

6 AWD警告灯（AWD車）

AWD が機能していないとき点灯。異なる径や空気圧の著しく低下したタイヤで走行したとき点滅。

9 オートヘッドランプレベラー警告灯

オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）のシステム異常時に点灯。

10 水温警告灯／水温表示灯

オーバーヒート手前で赤色点滅。オーバーヒートで赤色点灯。赤／青交互に点灯はシステム異常。水温が低いときは青色点灯。

13 半ドア警告灯

ドア、リヤゲートが完全に閉じていないとき点灯。

14 シートベルト警告灯

運転席シートベルト未着用時点灯。そのまま 22km/h 以上で走行すると点滅&ブザー。

17 方向指示器表示灯

方向指示器と同じように点滅。ヒューズや電球が切れたときは点滅速度が早くなる。

18 ライティングスイッチ表示灯

ライティングスイッチが 車幅灯 または 前照灯 位置のとき点灯。

21 セキュリティ表示灯

盗難防止機能がはたらいているとき点灯／点滅。
詳しくは取扱説明書を参照。

22 Info-ECO（インフォ・エコ）表示灯

ECO

Info-ECO モードスイッチ装備車で Info-ECO モードを選択時、または SI-DRIVE 装備車で I（インテリジェントモード）を選択していて、燃費の良い走行状態のときに点灯。

25 VDC作動表示灯

VDC 作動時は点滅。TCS 作動時は点灯。

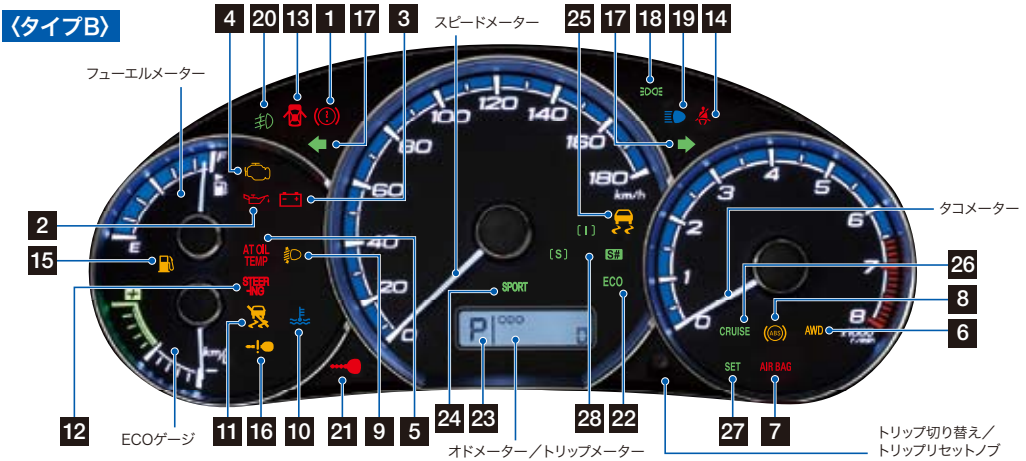
26 クルーズコントロール表示灯

CRUISE

クルーズコントロールのメインスイッチを押すと表示。

1～12 異常時に点灯／点滅。取扱説明書を確認の上、お近くのスバル販売店へご相談ください。 **13～16** 取扱説明書記載の正しい対応方法

★車種により装備されていない機能もありますが、レイアウト上全ての表示灯・警告灯を記載しています。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

〈タイプB〉

3 チャージ警告灯

充電系統に異常があるとき点灯。

4 エンジン警告灯

エンジン電子制御システム異常時点灯。
触媒を損傷する可能性があるとき点滅。

7 SRSエアバッグ警告灯

AIR BAG

エアバッグに異常があるとき点灯。

8 ABS警告灯

アンチロックブレーキシステム（ABS）異常時に点灯。

11 VDC警告灯／VDC OFF表示灯

VDC 電子制御システム異常時に点灯（警告灯）。／ VDC OFF スイッチを押してVDCを解除したときに点灯（表示灯）。

12 ステアリング制御警告灯

パワーステアリングのシステムに異常があるとき点灯。

15 燃料残量警告灯

燃料残量が約 9 リットル以下になると点灯。

16 キー無し警告灯（キーレスアクセス＆プッシュスタート装着車）

車内にアクセスキーが無い場合に点滅。

19 ハイビーム／パッシング表示灯

ヘッドランプが上向きのとき点灯。
パッシング時も点灯。

20 フロントフォグランプ表示灯

フロントフォグランプが点灯しているとき点灯。

23 シフトポジション表示灯／セレクトインジケーター

スポーツモード（4速オートマチック車）およびマニュアルモード選択時にギヤ位置を表示／セレクトレバーの位置を表示。

24 SPORT（スポーツ）表示灯（SI-DRIVE装着車以外）

SPORT

セレクトレバーを「D」からマニュアルゲートに移動させるとスポーツモードが選択され、点灯。

27 クルーズコントロール車速セット表示灯

SET

クルーズコントロール表示灯が点灯している状態で、速度を設定したとき表示。

28 SI-DRIVE表示灯（SI-DRIVE装着車）

[I] [S] S#

SI-DRIVE で選択されているモードを表示。

去に従ってください。 17〜27 各装置の状態を示します。　エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。

日常点検／Q&A

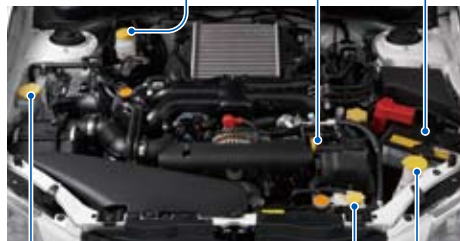
★点検箇所は搭載エンジンによって異なります。詳しくはメンテナンスノート、取扱説明書をご覧ください。

日常点検とは、日頃ドライバー自身の責任で行うように法律で義務づけられた点検です。
非常に大切な項目ばかりですので、日常点検を実施するように心掛けてください。

点検方法についてはメンテナンスノート 4章をお読みください。

■エンジンルーム内

●下記の項目の量を点検してください。

〈ターボ車〉

■車のまわり

●タイヤの空気圧／き裂、損傷、異常摩耗がないか／溝の深さを点検します。

4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。

●各ランプ、方向指示器を作動させ、状態を点検します。レンズの汚れ、損傷も点検します。

■運転席に座って

●エンジンのかかり具合、異音の有無を点検します。
●ブレーキペダルの踏みしろを点検します。
●ウインドゥウォッシャーの噴射状態を点検します。
●ワイパーの払拭状態の点検をします。

■走行して

●ブレーキのきき具合を点検します。
●エンジンの低速および加速状態を点検します。
●運行において異常が認められた箇所を点検します。

困った時のQ&A

Q アクセスキーまたはリモコンキーでドアが開かない

A 電波ノイズの影響が考えられる場合、再度操作をおこなってください。車の周囲約 1m 以内で何度か操作しても開かない場合は、アクセスキーまたはリモコンキーの電池の消耗あるいは故障が考えられます。
スバル販売店にご相談ください。

Q ハンドルがロックされている（ステアリングロック）

A **プッシュスタート装着車：**プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色に点滅します。ハンドルを軽く左右に回しながら、プッシュエンジンスイッチを押してください。
プッシュスタート装着車以外：ハンドルを軽く左右に回しながらキーを「Acc」「ON」の位置へ回してください。ステアリングロックが解除されます。

Q キースイッチが回らない

A
・ハンドルがロックされているとキースイッチが回しづらいことがあります。ハンドルロックを解除するために、ハンドルを軽く左右に回しながらキーを操作してください。
・セレクトレバーが P 位置以外にあると、キーは「LOCK」位置に回せません。セレクトレバーを P 位置にしてから操作してください。

●お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、
または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUお客様センター
SUBARUコール0120-052215
受付時間：9:00～17:00（平日）
土日祝は9:00～12:00、13:00～17:00
SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。
(1) ご意見／ご感想／ご案内（カタログ、販売店、転居お手続 他）
(2) お問合わせ／ご相談
※平日の12:00～13:00および土日祝は（1）のインフォメーションサービスのみとなります。
富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンターお客様相談部
〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2（スバルビル）

●スバル最新情報をインターネットで。
www.subaru.co.jp

お問い合わせは

富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンター　カスタマーセンター企画部
〒160-8316 東京都新宿区西新宿1-7-2 スバルビル

発行 2009年8月　Printed in Japan UX
Publication No. F6610JJ-A